

パブロ・ピカソ『ゲルニカ』の世界

2. 馬



抑圧された人民、瀕死のヒューマニズム、など。
 瀕死の馬は、爆撃の犠牲者や、スペイン共和国政府を表しているといわれています。



「ゲルニカ」に描かれているものとは？その意味とは？

「ゲルニカ」は、スペインの内戦を題材にした作品です。1937年に反乱軍のフランコ将軍を支援するナチスによって行われたスペイン北部の小都市ゲルニカに対する無差別爆撃が題材になっています。この事件は、当時ファシズムの残酷さを象徴するものとして、国際的に激しい批判の対象とされていました。

制作： 5年10月26日

反戦の意を込めて

爆撃の様子をリアルに描くのではなく、様々な角度から見た姿を画面にまとめて描くキュビズムや、現実を超越したシュルレアリスムなどの手法で描いています。

これによって、ゲルニカ爆撃だけでなく、戦争の悲劇さを人々に訴えています。

Famous Painters'Work 名画で塗り絵を楽しみましょう

作者名
(ニックネーム)

太郎冠者